

## 2020. 11. 08 嵐を生き残る（新約聖書：第二テモテへの手紙 1章 1～8節）

<https://www.youtube.com/watch?v=rRdA67legTk>

おはようございます。日曜日の朝の第二礼拝へようこそ。第一礼拝は、聖書預言に時間を費やし、そして第二礼拝では、神の御言葉を節ごとに教えています。先週、私たちは第一テモテを終えました。そして今日は、第二テモテ 1章の学びを始めていきます。そして、今日の箇所は1節から8節になります。どうぞ、その箇所をお開きください。まだ、聖書を開いていなければ、開いている間に、念のためにお知らせしたいと思います。JDFarag.orgの新しいウェブサイトの第一段階が完成しています。すでにそこで展開しているやり取りを見ると、本当にワクワクします。まだご覧になっていないなら、ぜひチェックしてください。そちらへのリンクは、オンライン動画の説明欄にあるはずですが、それでは、取り掛かりましょう。今日、主が私たちのために何を 用意してくださっているのか、とても楽しみです。皆さん、すぐに分かると思いますが、あなたが神の御言葉のどこを読んでいるかは重要ではありません。なぜなら、神の御言葉においてあなたが居る所が、今あなたが居る所だからです。それは言葉遊びではありませんよ。なぜなら、神の言葉は生きていて、力があり、そして、どんな両刃の剣よりも鋭いからです。（ヘブル 4:12 参照）あなたが神の御言葉のどこにしようと 関係ありません。それは、あなたのクリスチャン生活において、あなたが居る所で語ってくれます。今日も、それがこの箇所にも当てはまる事が まもなく見えてくるでしょう。それでは、できればお立ちください。ご無理であれば、座ったままで大丈夫です。私が読むのについて来てください。1節から始めます。

### 第二テモテ 1章

1 神のみこころにより、また キリスト・イエスにあるいのちの約束にしたがって、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、

2 愛する子テモテへ。父なる神と、私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。

3 私は夜昼、祈りの中で あなたのことを絶えず思い起こし、先祖がしてきたように、私もきよい良心をもって仕えている神に 感謝しています。

4 私はあなたの涙を覚えているので、あなたに会って喜びに満たされたいと 切望しています。

5 私はあなたのうちにある、偽りのない信仰を思い起こしています。その信仰は、最初あなたの祖母ロイスと 母ユニケのうちに宿ったもので、それがあなたのうちにも宿っていると 私は確信しています。

6 そういうわけで、私はあなたに思い起こしてほしいのです。私の按手によってあなたのうちに与えられた 神の賜物を、再び燃え立たせてください。

7 神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの（自分を訓戒する）霊を 与えてくださいました。

8 ですからあなたは、私たちの主を証することや、私が主の囚人であることを、恥じてはいけません。むしろ、神の力によって、福音のために 私と苦しみをともにしてください。

皆さん、共に祈りましょう。愛する天のお父様、私たちは今朝、あなたの御前に、今朝、私たちの目の前にある、あなたの御言葉の、この箇所において、謙虚に、シンプルに、聖霊があなたの教会である私たちに語ることを、耳で聞き、目で見て、心で受け取りたいと思います。主よ、あなたが語るとき、あなただけが出来るように私たちの注意を引き、私たちの意識を集中させて下さい。よく彷徨いがちな私たちの思いが、彷徨うことなく、気が散ることがありませんように。なぜなら、主よ、私たちは何も見逃したくないからです。あなたが今日、特にこの箇所から、私たちのために用意しておられることを。主よ、私はあなたが私たちに語ってくださると、本当に信じています。そして今日、あなたが新鮮な方法で、御言葉において、また御言葉を通して、ご自身を現してくださることを信じています。イエスの名によって祈ります。アーメン。アーメン。

お座りください。ありがとうございました今日は「嵐を生き延びる」ことについて お話したいと思います。その嵐とは、大統領選挙の後、メディアが、ちょうど昨日 ジョー・バイデンを勝者と宣言した事に

続いて 起こる兆しがあるものです。主に、第2回大統領討論会で バイデン自身が言った 「暗い冬」と私が見ているものです。これは導入として、いかがなものでしょうか？ 「おお、牧師さん…！」 今日、私たちの前にある箇所では、使徒パウロは、当時エペソでテモテが 直面していた事に関連して、彼を励ましています。彼が直面していたのは、 かなりの難局でした。そしてパウロは、テモテへの愛のゆえに、この2通目の手紙をテモテに書きます。これが彼の最後の手紙であることを 理解するのが重要です。そして、パウロにはそれが分かっています。パウロは聖霊によってこの手紙を書いている時、 不当に投獄されていて、そして、このことを考える時、 監獄の地下牢を思い浮かべてください。そこは、死ぬために送られる場所です。パウロの知らないところでしたが、 教会歴史によると、彼が斬首されるのは、この時、 数週間後に迫っていたようです。これは彼が書いた最後の手紙であり、 彼はそれをテモテに書いています。私の目を引くのは、特に最初の5節において私たちが読んだ際に、 皆さんが気づいたかどうか分かりませんが、しかし、ここには使徒パウロの テモテに対する生々しい感情があります。テモテはパウロにとって息子のような存在です。そして、パウロはこの男をとっても愛しています。彼は実に「信仰によるわが子」です。（1テモテ 1:2 参照）パウロは信仰において、 彼の父親となりました。そしてパウロは、テモテに最後に 会った時のことを思い出しています。どうやら、それは非常に感情的なものだったようで、そして、彼らが互いに顔を合わせたのは それが最後でした。パウロは、最後に会った時に、 テモテがただ泣いたことを 彼は思い出しています。パウロは感傷的になっているようです。皆さんも使徒パウロをそのように見るかは 分かりませんが、私は彼を男らしい、 この力強い男として見えています。神に大いに用いられた、揺らぐことのない、 恐れのない男しかし、パウロには この別の側面があります。彼には非常に思いやりがありました。彼は優しい心を持っていた。私はパウロは、非常に愛の深い人だと思えます。ああ、彼は人々をすごく愛していましたここで彼は、追憶に浸っているようで、名指しで、テモテの祖母のロイスと、母親のユニケのことを話しています。そうすることで、 彼はテモテの誠実な信仰を思い出し、そして、こう言っています。「私は夜昼祈りの中であなたのことを絶えず思い起こし、…」 わお…使徒パウロの祈りのリストに加えられるなんて、 どうでしょうね？ テモテは入っていました。パウロはテモテのために祈っていただけでなく、彼はまた、テモテに2通目の手紙を書く必要があると考えました。それによって、彼を備えさせるために「何のために彼を備えさせるのですか？」さて、いいですか、パウロはテモテを 助けることはできなくなるわけです。パウロは彼が直面していること、そして 何が起ころうとしているかを知っています。そして、パウロは 彼を備えさせたいと思っているのです。もしよろしければ、この箇所の中で、私たちが揺るがされないよう、準備ができるための4つの方法に 注目してもらいたいと思います。この先にある嵐に備えて。そして、間違いなく、嵐は待ち構えているのです。あえて言うならば、先週私たちが目撃したばかりの事は、何が来ようとしているかを暗示しています。私たちは、預言アップデートで このことについて話しました。ここ、アメリカにいる 私たちだけではありません。アメリカで起こっている事は、全世界に起ころうとしている事の、兆候です。そして、それは起こっています。実際に。そして、それは来ようとしています。「わあ、牧師さん。うわ〜！」 「お先真っ暗。またそれですか。」さて、いいですか？ 私は謝罪しません。なぜなら、私は神に対して責任があるからです。なぜなら、私はいつか 神の前に立つのですから。そして、私は弁明しなければなりません。毎週日曜日の朝と、木曜日の夜に、神の教会であり、神の民である皆さんの前に立つという、神が私に与えて下さった、素晴らしい特権をもって、私が何をしたのかを。私は愛をもって、真理を語ったのか？ それとも、皆がそれを聞きたくないからとって、私は語るのを避けていたか？ 正直言って、私もそんなこと聞きたくありません。皆さん、私がこれを聞きたいと思いませんか？ 私は聞きたくありません。ましてや、教えるなどもつてのほかです。しかし、それは真実です。それは偽りのない真実であり、 真実以外の何物でもありません。神に誓って。これが起ころうとしている事なのです。1つ目は、6節です。それは、「再び燃え立たせること」です。良いスタート点です。ここでパウロはテモテに、 神の贈物を燃え立たせるようにと、 思い起こさせています。それは、パウロ自身の按手によって、 すでに彼の内にあつたものです。どうやらテモテは、公平に

考えれば、恐らく知らず知らずのうちに、彼がかつて持っていた炎を、ゆっくりと燃やし尽くしてしまっただけです。だから、再び燃え立たせる必要があったのです。私は、これからの日々の中で、私たちは是が非でも 信仰の炎をかき立てる必要があると思います。さて、それに条件を付けさせてください。もし、これから起こる事を考慮して、この先、 私たちが繁栄するどころか、生き残る希望を 少しでも持とうとするなら、…このように言わせてください。神の民である私たちが、繁栄するどころか、生き残れるかどうか、これには、私たちがこれから先、 どうなるのかを決める傾向があります。「牧師さん、今日はちょっと強烈ですね…」 ええ、そうならざるを得ないんです。かつて明るく燃えたあの炎…私たちが主のために燃えていたあの日…そして問題は、時間が経つにつれて色んな事が起こり、どうですか？それを調べてもらえますか？ 愛する天のお父様、その状況が何であれ、憐み深く、導き、備え、守ってください。これはおそらく、 祈るのに絶好の機会でしょう。それから、私は言いたいことがあります。共に祈りませんか？ 天のお父様、この群れ、この信者の集まりへの 愛なる守りを感謝します。主よ、私たちは、私たちが闇の力、敵の怒りを 呼び起こしていることに感謝します。主よ、それは良いことです。なぜなら、敵が私たちが放っておくとき、 その時こそ、私たちは心配すべきだからです。なぜなら、私たちが闇の王国に 脅威を与えていないということですから。主よ、私はただ、あなたのこの教会に感謝し、あなたの言葉を共有する この時を感謝します。さて、私が言いたかったことは、これです。霊的な戦いというのは… 私は敵に、あまり…それは紙一重で、バランスがあるんですね。どちらか一方に偏りすぎて失敗してしまう事があります。極端に走って、敵を買いかぶるか、それとも、もう一方の極端に走って、敵を軽く受け流し、 彼の力を十分に認めない。しかし、その中間に健全なバランスがあります。勘違いしないでください。敵は、あなたが今日、 神の言葉を聞くことを望んでいません。彼は何とかあなたの気を逸らせ、 あなたの思いをさまよわせるために 何でもします。あなたがこれを逃すために。私が今日話しているのは、いのちの言葉です。これらはいのちの言葉です。ここで危機に瀕しているのは、これから先待ち受ける日々に、 神の民が生き残ることです。繰り返しますが、これが強烈で 単刀直入に聞こえるのは分かっていますが、 しかし、これは真実です。真実です。私が城壁の見張り人として、警鐘を鳴らさず、 何が起こるのかを知っていながら、 神の民に警告しないなど、とんでもありません。もしそうなら、あなたの血の責任が、 私にあるからです。しかし逆に、私が何が起こるかについて あなたに警告しても… 一それは起ころうとしています一あなたが耳を傾けないならば？ そうであれば、それは私の責任ではありません。それはあなたの責任です。2つ目に移る前に、 このことについて話しましょう。私が時間をかけたいものです。「どうやって、再び燃え立たせるのか？」一度、非常に燃え盛ったものを、 どうやって再び燃え立たせるのか？ 信仰はどのようにして生じますか？ 神の言葉を聞くことによってです。神の言葉のない一週間(one week)は 人を弱くする(one weak)と言われていました。分かりましたね？ 分かったでしょ？ もう一度言いましょか？ ところで、これは言葉遊びでした。私たちが御言葉に入り込むたびに、 御言葉が私たちの中に入ります。そして、それは火の中に 丸太をもう一本入れるようなものです。神の御言葉という祭壇の上にある新鮮な火。パウロがそれを行ったのはいつだったのか、 何だったのだろうかと思いますが、しかし、神はテモテを召された時に、 パウロを通してテモテに按手させたようです。そして…この後すぐに見ていきますが、テモテの性格がどんなものか 垣間見ることができます。彼は、いわゆる内向的な人でした。怯えやすく、少し恥ずかしがり屋でした。しかし、そういうものではありませんか？ 神は、恥ずかしがり屋を選んで人々の前に立たせ、 御言葉を説かせ、教えさせます。ところで、その理由はご存じですか？それは、神だけが栄光を受けるためです。なぜなら、人々がテモテのような人を見るとき、そして、私は自分についても祈りますが、 私のような者を見て、 人々は「わお…！」と言うのです。「神が彼を通して語ることができるなら？！」「神は誰を通してでも語る事が出来る！」 それは本当です！

神は知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選ばれます。(1コリント 1:27 参照)

しかし、テモテが直面した困難は、彼を参らせてしまっていたようです。そして、炎を再び燃え立たせる 必要があったのは、そのためです。7節に行く前に、これについて最後に言わせてください。信仰の火である炎を、私たちが再び燃え立たせる 必要がある時があるとすれば、それは今です。いいですか、私たちは皆、それをなおざりにする傾向があります。それがどういうことか分かりますか？ ハワイではそれほどありませんが、火を放置しておく、それは最終的に消えていきます。火を消すには2つの方法があります。それを放置するか、それに水を注ぐか。いずれにせよ、それは消えていきます。もしかしたら、今日ここにいる方、もしくは オンラインで見ている方の中に、それを 放置してきた方がいるかもしれません。そして、火が徐々に消え始めている。息を吹きかけるだけでも、どうなるか知っていますよね？ それは再び、燃え上がります。2つ目は7節にあります。これは重要です。聖書訳によっては、この節をこう表現しています。

**「神は、おくびょう（恐れ）の霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊を わたしたちにくださったのです。」**  
それは非常によく知られている節で、しばしば引用される節ですが、私たちが大きな間違いを犯すと私が思うのは、御霊によってパウロがテモテに言っていることを 完全に理解していると思うことです。そして聖霊が、今日、私たち教会に語っていることを。「恐れ（臆病）」という言葉には、「脅されて怖くなる」という考えが含まれています。臆病、萎縮、また、恐怖と脅迫の下で 揺らぐという概念が含まれています。パウロが言っているのは、今は 萎縮している場合ではないということです。今は、脅されて怖がったり、 恐れに屈している場合ではないと。なぜなら、聖霊が私たちに与えられるのは 恐れではないからです。聖霊は私たちに何を与えるのでしょうか。力です！ 原語では「ドゥナミス」そこから生じる英単語は、「ダイナマイト！」どうでしょう、この言い方（笑）ドゥナミス、ダイナマイト。あの古いホーム・コメディを思い出します。すみませんが…思い出してしまいました。あのホーム・コメディは何でしたっけ？「ダイナマイト！」 ね？ まあ、そういうことです。聖霊の力。そして、力だけではありません。 聖霊は私たちに力を与えるだけではないからです。聖霊の実とは、次にパウロが言っているこの言葉です。それは「愛」という言葉です。そして、それだけではありません。通販番組のように聞こえたなら、すみません。しかし、これを聞いてください。力、愛、そして…訓練された思考（慎み）。よく聞いてください。私たちが子どもをしつけるように、自分の思いを訓練するための力、能力。あなたは、自分の思考を 厳格に訓練する必要があります。なぜなら、そこが戦場だからです。そして、サタンはそれを知っています。彼はあなたにそれを知って欲しくありません。なぜなら、彼はあなたの頭に 考えを入れるからです。そして、あなたの思考が訓練されていなければ？ あなたは、こんな感じです。「まさか…?!」敵はすぐそこにいて、「ああ、そのまさかだよ!」「そんな～!」そして、恐れが生じます。そして、私たちは、その押しつぶすような 恐怖の重圧に、身を縮めるのです。怖れは殺し屋のようです。致命的です。そして、霊的な意味だけでなく、身体的な意味でもそうです。生理的にどれだけのダメージがあるか 知っていますか？ 恐怖のせいだけで。それは、あなたの体のあらゆる部分に影響を与えます。だからこそ、私たちは訓練された思考を 持たなければなりません。パウロが次のように言っていたのは、このことなんです。すべての思考を捕らえなさい。それを捕まえなさい！（第二コリント 10:5 参照）それを中に入れて、食卓を整え、夕食に招待してはいけません。ある考えが起こります。それは主からのものではありません。なぜなら、主はあなたに恐ろしい考えを 与えることは決してないからです。とにかく、この考えが起こります。「牧師が日曜日に説教したことを聞いた?」「それは起ころうとしている!」「どうしよう…!」そして、サタンはすぐそこにいます。恐れ…! あなたはそれを受け、「そう慌てずに!」と言います。なぜなら…、ここで理解せねばならない事ですが、これは訓練なのです。「私の思考は訓練されている。」私はその考えを受け、そして、それが神の言葉が 語っている事と釣り合い、一致しているかを 確認します。そして、それが神の言葉と釣り合わず、一致していないならば、「お前は出ていけ!」「入場禁止!」「あなたは入れない。」「マスクをしていても関係ない。」「それでも入って来れない。」すみません、ついちょっと… 何でもいいですが…それはこんな感じです。「神の言葉と一致していない?」入場禁止。 入って来てはいけ



ない。私が何を言おうとしているのか、もうお分かりでしょうから、もう要点を言った方がいいでしょう。今は、恐れている時ではありません。このような時に、信仰でなく恐怖？ 次のように言われています。私はこのような言葉が大好きですが、悲しいことに、決まり文句になってしまっています。しかし、こう言われています。「私たちには、未来に何があるか分からない。」「しかし、私たちは未来が誰の手にあるかを知っている。」今、特にアメリカでは、非常に不確実なことがたくさんあります。つまり、メディアはジョー・バイデンを大統領選挙の勝者と宣言しました。トランプがすでに発言したところでは、明日、月曜日の朝に、彼らは選挙結果に異議を唱える多くの訴訟を裁判所に持ち込む予定です。不正投票と、選挙を盗もうとする民主党の試みを告発して。では、どうなるのでしょうか？ さあ、私にはわかりません。しかし、私が知っていることは、これです。神は王座に座っておられます。王座に座っておられます。預言アップデートでお話しました。神は王座の前を行ったり来たりしていません。「何が起こったんだ?!」この馬鹿馬鹿しい説明の仕方をお許してください。しかし、考えてみてください。これが、私たちの訓練されていない思考の仕方ではありませんか？ 私たちは実際に、起こった事について神が驚いたと思いますか？ 私たちは祈っていて…、「ああ、主よ！主よ！」「彼らは選挙を盗もうとしています！」あなたはこんな返答を想像できますか？「何だって?!いつこんな事が起こったのか?!」「ガブリエル！ミカエル！こっちに来なさい！」昨日は面白い日でした。私たちは、メディアがジョー・バイデンを勝者と宣言したというニュースで目を覚ましました。昨日です。私のコーヒーが台無しになりました。「まじ…?!」そして、もちろん、皆さんの中には私のような方もいて…それでもいいんですよ。ニュースフィードを見ていて、ニュース速報、不正投票が…といった報道が色々入って来ます。そして、ソーシャルメディア上の動画では、投票用紙に記入している人々が映っているのです。本当ですよ！はい！どこからともなく大量の投票用紙が…「ああ、これを忘れてました！」おお、本当に?! いい加減にしてくださいよ。そして、私たちの最初の反応はどうですか？ そうですね？「主よ…!」「彼らが何をしているか見てくれますか?!」それは、ある人が「指示的な祈り」と呼んだものです。指示的な祈りが何であるか分かりますか？それは、私たちが祈るときに、祈りに答える方法について神に指示を出す祈りのことです。私はただ神がこう仰っているのが聞こえます。「わたしの助けが要るのか?」「あなたはわたしを助けようとしているのか?」「あなたはわたしを助けたいのか？ わたしを助けるな!」「わたしはちゃんと分かっている。」「わたしはすべてを掌握している。」—「ええ…、しかし、主よ！あなたはTwitterのあの動画を見ましたか?!」「ああ、見たよ。実際、それが起こったとき、わたしはそこに居たのだ。」—「ええ…、しかし、彼らが選挙を盗んでしまうかもしれないと心配です。」本当ですか？それは主から来たものではありません。それは主ではありません。あなたの思考を訓練してください。神は私たちに力の霊を与えてくださいます。聖霊は私たちに力を与えてくださいます。聖霊は私たちに愛を与えてくださいます。この3つ目のものは、もう少し居心地が悪くなるでしょう。実は、4つ目のものは、本当に居心地が悪くなりますが、退室できませんよ。なぜなら、あなたが立ち去れば、私たち全員が気づきますから。もちろん、私たちが頭を垂れて目を閉じれば話は別ですが…しかし、そうするつもりはありません。なので、あなたは逃げられません。あなたはこれから逃げ出せません。8節の最初の部分。今はイエス・キリストの福音を恥じている場合ではありません。パウロがここで言っていることは、非常に興味深いです。いくつかの理由がありますが、その中でも特に、多くの人はずでにこの時点までに、パウロの晩年に、彼を見捨てていました。そして、福音と真理と主を捨てていた。なぜでしょうか。それはすぐく困難であったから。嵐が吹き荒れ、とてつもない迫害。クリスチャンになることは実際に違法でした。もし誰かがあなたがクリスチャンだと知ったら、今日、世界の多くの地域でそうであるように…私は第一礼拝で、このことを話しました。第二礼拝で、もう一度お話しするのが良いのかも知れません。アメリカでは、あまりにも長い間、状況が良すぎたのです。今、このようなことが起こり、将来は非常に不確かに見えます。そして、それは私たちを心底まで揺さぶります。なぜなら、私たちの基盤が岩ではなく、砂の上に建てられていたからです。彼らはみな見捨てました。実際、この章の終わりごろに、パウロは彼らの名前を

挙げています。2000年の間、あなたの名前が聖書のページに記録されているというのは、いかなるものですか？信仰と真理を捨てた者として。なんということ…しかし、テモテは違います。テモテはとても忠実で、献身的でした。そしてそれが、パウロにテモテをととても愛しいと思わせたのだと私は信じています。パウロが恥じてはいけないことについて言っている時、彼がこう言っているのに気づいていますか？「私のことも恥じてはいけない。」彼らはパウロのことを恥じていました。これについて考えてみてください。その時代、その時、そのような環境で、あなたはイエス・キリストの福音を説いています。ところで、カエサル・ネロが当時のホワイトハウスにいました。総体的に把握できるように、そう言わざるを得ませんでした。カエサル・ネロが誰だか分かりますね？では、少し彼についてお話ししましょう。もしかしたら、ご存じない方の助けとなるかも知れません。この男はとても邪悪で、悪魔に憑りつかれていました。そして彼は、クリスチャンを憎んでいました。彼はクリスチャンを捕らえて、彼らにタールを塗り、そして、彼らに火をつけ、生きたまま火あぶりにしました。そして、彼は同性愛者の男性と一緒に戦車を乗り回し、こう言って彼らをあざ笑うのです。「お前たちは世の光だ！」ちなみに、彼がパウロを斬首することになります。それがここで起こっていることです。繰り返しますが、パウロはこの地下牢に不当に投獄されます。そして、パウロと福音から、離れていく人々がいました。なぜなら、彼らは恥じたからです。また、覚えておかねばならないのは、その文化では、彼らは人間に重点を置いていました。なので、あなたが、ローマの十字架にかけられた男についてメッセージを伝えていて、そして、あなたは彼が3日目によみがえったと主張します。そして、ああ、テモテらの指導者は、牢獄にいて、死ぬことになっている。確かに彼は死ぬだろう。そして、彼らは前言撤回しました。なぜでしょうか？彼らは恥じたのです。彼らは福音を恥じました。ローマ1章16節、使徒パウロがローマの教会にこう書いています。「私は福音を恥としません。…」その理由が次にあります。「福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。」クリスチャンとして私たちが大胆に、大胆に…！恥じることなく…！救う力のあるイエス・キリストの福音を宣べ伝える時があるとすれば、それは今です！そして、私たちは引き下がっているのですか？「ああ、私は誰も怒らせたくない…」怒らせてください！「うん…でも…、気に障ることを言いたくないし…」気に障ることを言ってください！「ああ…でも、私はそんなこと…」聞いてください。皆さんは…そして、私は愛をもって、イエスの名によってこう言いますが、皆さんは、誰かにお世辞を言って地獄へ送るよりも、怒らせてでも天国へ送る方が良いという所まで来るべきです。なぜなら、彼らはそこ(地獄)に向かっているからです！一拍手一これに関して最後に一つ。有名な「最後に一つ」ですけど。私と一緒にこれを考えてみてください。これは真実ではありませんか？主が、あなたに誰かをイエスに近づける機会を与える時、敵がすぐそこにいて、「私だったらそんなことしないよ。」「もし彼らが怒ったら？」—「そうだね…、考えたことなかったな…」「もし彼らがあなたに反撃してきたら？」「そしたらどうするの？」—「ああ…、そうだね…」「今回はやめておいた方が良いかも。」敵が勝ちました。敵の勝ちです。そして、それは常に起こります。これは真実ではありませんか？クリスチャンとして私たちの一番の恐れとは、自分の信仰を共有すること。それはなぜだと思いますか？敵は盗み、殺し、滅ぼすために来ますね。彼が私たちから何を盗もうとしているのか知っていますか？イエス・キリストに対する信仰を、恥じることなく分かち合うときに生まれる喜びです。聞いてください。私はこれを誇りに思っていない。私はキリストの元に来る前に、人生で多くの薬物をやりました。誰かをイエス・キリストの救いの知識に導くほどの高揚感はありません。もちろん、敵は嫌がります。「えっと、もしもし?!」敵はこう言っています。「いや、彼らはだめだ!」「私は何年も、彼らをイエスから遠ざけようとしているのに!それなのに、お前がやって来て…、いや、やらせないぞ!」—「ええ、はい、私はやりますよ!」なぜなら、本当のところは、敵はできる限りのことをして、だれかがイエス・キリストのもとに来るのを防ぐために、手段を選ばず、何でもするものではありませんか。そして、人々がキリストの元に来た時は、敵は戦略を変えます。今や彼は、イエス・キリストから私たちを遠ざけるために、できる限りのことをし、私たちがイエス・キリストの福音を分かち合うのを止めさせます。

使徒パウロは、非常に率直に、そんなに無知ではいけない、と言います。無知ではいけない。私はキング・ジェームズ訳（欽定訳）の表現が大好きです。悪魔の策略！ その響きが意味にピッタリなのです。悪魔の策略！ これらは彼の戦略です。エペソ6章で…あのよく知られた箇所ですが、使徒パウロが私たちの霊的な戦いを例えて、

**「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、…」**（エペソ6章12節参照）

そして、彼は4つの実体をリストアップしています。支配、力、この暗闇の世界の支配者、天上にいる悪霊、彼は続けて、この霊的な戦いのすべての部分を、武具と比喩的に結びつけています。そこで何が本当に興味深いかと言うと、彼が原語で使っている言葉には、軍事戦略家としての敵という概念が伴っているのです。あなたは、ヒトラーと、彼の隣に悪魔に憑りつかれた仲間の男たちがいて、彼らが地図を研究しながら戦略を立てている第二次世界大戦の写真を見たことがありますか？ この話が…いや、実際には、これが皆さんをぶっとばすことを願っています。なぜなら、あなたを目覚めさせる必要がありますから。敵はあなたのクリスチャン生活の地図を持っています。そして、彼はそれを研究しており、戦略を立てています。そして、彼は恐れであなたを攻撃するのに最適な時を待ち構えています。福音を恥じることで、あなたを攻撃するために。臆病であなたを攻撃するために。あなたが引き下がって、その重さに耐えられず萎縮するように。彼はあなたをそのように研究しているのです。そのことに無知であってははいけません。さて、ここで、最後の1つです。何人かは「イエス様、感謝します…」と言ってますね。とはいえ、なんとすごいものでしょうか。8節の最後の部分「苦しみを受け入れる」—ああ、なんてこった…！クリスチャンにとって最大の障害の一つは 何だと思いかと聞かれたら？「苦しみを理解すること」でなければなりません。よろしければ、説明しましょう。私たちはクリスチャン生活の中で、逆境や苦しみから身を守るために、できる限りのことをするというのが本当のところではないでしょうか？あなたは、それがなぜなのか知っていますか？悲しいことに、私たちは綿菓子のように甘いクリスチャン生活に慣れすぎているのです。逆境、苦悩、試練、苦痛といった話はすべて 私たちにとって異質なものです。なお、私たち自身を危険にさらして。苦しみの目的のゆえ、神がなぜ苦しみを許されるのか、という事のゆえに。露骨な言い方ですが、お許しください。しかし、天国への道は、多くの苦難と苦しみで舗装されています。これは使徒の働き14章です。21、22節を読ませてください。

**使徒の働き14章**

**21 二人はこの町で福音を宣べ伝え、多くの人々を弟子としてから、リステラ、イコニオン、アンティオキアへと引き返して、**

**22 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧め、**

うわー！ 彼らは弟子たちを励ますために 何と言いましたか？♪あなたなら出来る！Go！行くんだ！♪ 違います！彼らがどうやって信仰に忠実であり続けるように励ましたか知っていますか？彼らがどのように弟子たちの心を強めたか知っていますか？彼らは弟子たちにこう言います。

**私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない。**

どうでしょう？ 今日では困難でしょう…私は今日のアメリカの説教壇を非難するつもりはありませんが、しかし、それは真実です。今日、こう教えている説教を見つけるのは困難でしょう。しかし、それは神の言葉であり、それは神の言葉の真理です。苦難、苦しみ。「ええ、でも牧師さん、これは時代が違いますよ。」おお、そうでしょうか？もし、私がこう言ったらどうでしょう？これから起こることは、これまでにないほどあなたの信仰を試すことになる、と？来ようとしている嵐…私が考える嵐は、すでに来ています。はい、それは、これまでにないほどにあなたを試すかも知れません。しかし、あなたはこれまでにないほどに、主を信頼することができます。なぜなら、聖書の至る所で、そのようにして忍耐が生じると言われているからです。どういう意味か？嵐の中で勝利を得るための強さ、忍耐力は？嵐によって生じます。そうでなければいいのですが、しかし、そうなのです。そこから生じるのです。私たちは祈ります。「ああ神よ、私に力を与えてください！」本当に力を与えられ

たいか？ 「ええ、私に力を与えてください！」 「私を祈りの人にしてください。」 祈りの人にしてくださいと祈ったのか？ 良いだろう。本気か？ 「はい！主よ、私を祈りの人にしてください。主よ、私を強くしてください。」 よし、じゃあ試練だ。「いいえ！ 私はあなたに試練を求めませんでしたよ。私はただ、あなたに強めて欲しかっただけです。」 ああ、あなたは理解していない。わたしがあなたを強めることができる 唯一の方法は、試練を用いることだ。なぜなら、忍耐はそのように生じるから。他の方法はないからです。それは嵐、忍耐を通して生まれるのです。私はエステルを思い出します。 生死に関わる状況。モルデカイは彼女に言います。

**「神がこのような時のために あなたを配置して、育てたのではないと どうして分かるのか？」 (エステル 4:14 参照)**

彼は彼女にかなり冷然とした発言をして、彼女にこう言います。「もしあなたがしないなら、別のところから救いが起こるだろう。」 さて、彼女は何をしなければなりませんか？ ああ、彼女は招かれずに、王の前に行かねばならなかったのです。ここで知っておくべきことは、もしあなたがそうして、王があなたを受け入れないなら？ 王は指を鳴らすまでもなく、眉毛を上げるだけで良かったんです。ここハワイでやるように。 それでおしまいです。あなたは終わり。おしまいです！しかし、もし王が笏を差し出し、そして彼女を受け入れたなら、ふう！危機一髪…だから、彼女は招かれずに王の前に 行かなければならないことを、知っていました。彼女はこの声明を出します。私たちはクリスチャンとして、誠実に、 純粋に、心から、同じことを言えるように なれたらと思います。

**「私は、死ななければならないのでしたら 死にます。」 (エステル 4:16 参照)**

私はヨブを思い浮かべます。ヨブの学びをご一緒した皆さん、ヨブ記は1年以上かかったと思います。ヨブ記を一通り学ぶこと自体が、 試練でした。うわ〜、なんという書でしょうか。 なんという男でしょう。彼に起こったことすべて。そして、ある箇所で、ヨブがこう言います。

**「神が私を殺しても、私は神に信頼する。」 (ヨブ記 13:15 参照)**

何が悲しいかという、それは、この先に困難があるという 兆しがちょっとあるだけで、私たちが芯まで揺さぶられているような事です。繰り返しますが、それはこの基盤の話に戻ります。私たちはどのような土台の上に クリスチャン人生を築いてきたのでしょうか。イエスは、マタイ7章で、家を建てる2人の者についてたとえを教えています。 これで締めていきます。イエスは家を建てる者について こう言っています。二人は同じ時期に家を建てるつもりだったようです。二人とも同じ教会に行っていたようです。私がこう言うのは、イエスが、 彼らは二人とも、キリストの言葉を聞いていたと言っているからです。言い換えれば、家を建てるこの二人の人には 多くの共通点がありました。それで、彼らは家を建てにかかりました。一人は砂の上に自分の家を建て、そしてもう一人は、 岩の上に自分の家を建てました。だから、”もしも”ではなく、 嵐が襲った”とき”、そして嵐は確かに襲いました。砂の上に建てられた家は崩れ落ちました。その箇所に、非常に興味深い詳細があり、 イエスはこう言ったのです。

**「しかもその倒れ方はひどいものでした。」 (マタイ 7:27 参照)**

それはただただ、崩れ落ちました。しかし、ここに 岩の上に建てられた別の家があります。揺るがず、平然として、動かされない。なぜでしょうか。 それは岩の上に建てられたからです。要点は何か？ 違いは何か？ 砂の上に建てた人は、キリストの言葉に、真摯に耳を傾けなかった者。岩の上に家を建てた人との違いは？ 彼はその言葉を聞き、その言葉を実践したのです。ヤコブが言うように、彼は単に御言葉を聞くだけではありませんでした。彼は御言葉を行う者でした。それがすべての違いを生み出した。なので、その嵐が襲ったとき…、 その家は立っていました。 なぜなら、岩の上に建てられていたから。そして、その家とは、私たち一人ひとりのクリスチャン人生の描写です。今、その質問の答えが必要です。どの土台の上に、あなたは建ててきたのか？ キリストの言葉をあなたの人生に適応し、実践すること以外が、基盤となっているなら、神の言葉に耳を傾け、 神の言葉を行う者となること以外が、基盤となっているならば…？ それは時間の問題です。だから私は、あなたに 警告しなければならないのです。さて、最後にもう一つ。先週、私が主を求め、今日のために、 私の心を備えてくださるよう主



に求めていた時に私がただ強く感じたのは、私たちクリスチャンがトランプから目を離し、そして、イエスに目を向け時が来たということです。私がこう言うとき、誤解しないで下さい。しかし、私はあなたが誰であっても、あなたが自分を誰だと思っても、構いません。もし、あなたの目が人に向けられているなら？ それは崩れ落ちます。しかし、あなたの目がイエスに向けられており、その土台の上に建て上げているなら？ あなたは今後起こることによって、動かされることなく、揺さぶられることはありません。そして、それは起ころうとしています。そして、私たちは皆が、主からのこの言葉に耳を傾けることを祈ります。お立ちください。祈りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、私は最善を尽くしました。そして今、ここから先は、聖霊がなさってください。主よ、今日ここで、あなたの教会である 私たちに聖霊が語られたことを、私たちがただ聞き流すことがないように、私たちが今日の残りの1日、そして今週1週間のために、家に持ち帰ることを祈ります。主よ、私はあなたの御言葉に感謝します。御霊の力に感謝します。すでに私たちのものである勝利に感謝します。そして、主よ、感謝します。ウジヤ王が死んだ年に、イザヤはイスラエルの民全体と同様に、心底まで揺さぶられました。彼が顔を上げて、目を天に向けたとき、イエス様、彼は、その御座におられるあなたを見ました。そして、あなたの栄光と衣の裾、主よ、あなたの栄光で神殿が満ちていました。そしてその返答は、「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主！」主よ、ありがとうございます。それが私たちを落ち着かせ、安定させてくださることを祈ります。イエスの名によって。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7